

ユズリハだより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp **79号**

2014. 12. 20 (No.79)
東京公害患者と家族の会
文京区小石川5-34-12
アビタマツモト2F
TEL03-5802-2170 FAX03-5802-2377
ぜん息110番
03-5840-8446



11月30日(日) ~ 12月

公害総行動とは・・・
毎年6月の環境月間に
全国から公害被害者が結
集し、環境大臣交渉を始
め内閣府・省庁・経済界・
企業との話し合いが行わ
れます。かつて4大公害
が引き起こされた原因究
明と環境改善・被害者救
済を目的に始まりまし

11/31~12/1 全国公害被害者総行動合宿in箱根

1日(月)に箱根路開雲
において第39回全国公害
被害者総行動合宿が行わ
れました。参加団体は水
俣病・アスベスト・スモ
ン(薬害)・基地問題・
道路問題・有明海・化学
兵器被害・福島原発・大
気汚染と、公害や環境問
題に取り組んでいる団体
から代表が約60名参加し
ました。

「生きていくうちに解
決したかった!」と涙で
報告される遺族の思いが
伝わりました。

「私たちが東京公害患者と
家族の会からも、東京都
医療費助成制度一部改正
が都議会により決められた
ことを報告しました。」



真剣に報告に聞き入る参加者

「一日目会議の冒頭では
今年10月9日に最高裁
判所で勝利判決を勝ち取っ
た。」

「二日目の会議では
二日目は各地で提訴さ
れている、福島原発の被
害について報告がされま
した。原発事故から3年
が経過しているが、未だ
避難生活を余儀なくされ

「来年は40周年!
また、来年は総行動40
周年にあたります。
総行動がはじめられた
当時は40年後には公害な
ど無くなっていると思っ
て活動されたことでしょ
う。しかし、今、福島原
発被害を間の当たりにし
て、複雑な思いでした。」

予定とお知らせ

12月

- 24日(水) 環境省交渉(補償費) 14:00~
- 25日(木) ヌズリハ12月号発行、
公害対策まちづくり委員会 13:30~
- 27日(土) 合同三役会・事務局会議10:00~
事務所納め、

1月

- 5日(月) 事務所開き
- 9日(金) 公害被害者総行動実行委員会14:00~
公害被害者団体合同旗開き プラザF 18:00~
- 11日(日) 第11回幹事会 13:30~
- 14日(水) 市民フォーラム実行委員会10:00~
- 19日(月) 東京あおぞら連絡会常任理事会15:00~
弁護士会議 公害センター18:00~
- 20日(火) 東京あおぞら連絡会理事会
文京区民センター18:30~
- 21日(水) 事務局会議13:30~
- 24日(土) 13:30~ 25日(日) 12:45
再生可能エネルギー普及全国フォーラム2015IN静岡
- 29日(木) 第12回道路連絡会準備会 午後 場所未定

2月

- 1日(日) 第12回 幹事会13:30~
- 8日(日) 13:30~ 全国患者会幹事会 東京
- 9日(月) 12:00 ~ 全国患者会幹事会 東京
- 9日(月) 大気全国連 公害センター 14:00~

三多摩支部 新春交流会

2015年2月2日(月) 12:00~

会場 立川ふれあいクリニック
(フィットネスルーム)



大田支部 新年交流会

2015年2月5日(木) 13:00~

会場 大田区消費者センター

健康づくり委員会 からのお知らせ

一泊バス旅行

4月26日(日) ~ 4月27日(月)
「房総方面」に決まりました。

— 東京の大気汚染、道路公害は今なお深刻な状況にあり、健康被害を生みだしています —

PM2.5シンポジウムin世田谷

きれいな空気を求める運動と被害者救済

2月14日(土)午後2時~4時半 東京ロシア語学院 小田急線 経堂駅 3分

「深刻なPM2.5汚染とその発生源、東京の汚染状況について」

伊勢 洋昭さん 都立産業技術研究センター(専門は微小粒子測定技術、環境アセスメント)
技術士(総合管理部門、環境部門)環境アセスメント評議員

「PM2.5の健康被害と救済、今後の運動について」

原 希世巳さん 東京大気汚染訴訟弁護団事務局長 渋谷共同法律事務所

参加申し込みは
事務局まで!

みなさま風邪などに
よいお年をお迎えください

各団体から「開発のあるべき姿を探る」実践的報告があった。大越副会長が「ぜん息医療費助成制度改定及び東京港湾計画と大気汚染（PM2.5問題）」について報告。特に船舶に排ガス規制のない現状では、PM2.5など大気汚染が増大し、とりわけ品川

東京の暮らし・雇用・福祉のありかたについて考える 自治研集會に参加

渡辺治（一橋大名誉教授）の「安倍政権の改憲をはばみ憲法を生かす日本を！」の記念講演の後、午後の分科会は、第2分科会で「大型開発・都市計画」に参加。「開発のあるべき姿」をテーマに

川崎公害根絶・市民連絡会とは、全国公害患者の会連合会・川崎公害患者と家族の会を支援する団体です。ちようど、私た

川崎市民連絡会総会

その他第9分科会の「東京の医療・保健」には増田事務局長が参加して、9月東京都議会で決定した『東京大気汚染医療費助成制度』の一部改正について報告しました。

（練馬支部・進藤涼三）

公害対策まじごへり



ち東京公害患者と家族の会を全面的に支援してくださる、「東京あおぞら連絡会」にあたると思ひます。全国連合会では地域が近いせいもあり、川崎患者会と「市民連絡会」

訃報です

幹事・三役を長い間担っていた小澤廣子さんが、12月15日未明に亡くなら



今年の夏、病んだ身体を引きずるようにして医師会要請を続けた姿を思い出すと、その意思の強さに只々頭が下がります。これまで患者会の活動を誰より頑張ってくださったこと、忘れません。どうか、これからはゆっくり休んでください。

のみなさんとは親交が厚くなりました。都庁前で「東京大気汚染医療費助成制度」の見直し反対の座り込みにも多大な協力をしていたいただきました。「市民連絡会」の総会には初めて参加させていただきました。川崎にも「東京大気汚染医療費助成制度」の一部改正が波及する可能性があります。互いに助け合いながら、患者が適切な医療を受けられるように制度を守り、国への「新たな助成制度創設」を求めて行きたいと思ひます。

小澤さんは患者会創設からずっと、患者会を支えてきてくださった方です。新宿区神楽坂生まれで、交渉の時など歯切れの良い質問に、省庁の職員もタジタジという胸のすくような場面も数多くありました。

それでいて涙もろく、面倒見が良い。小澤さんの急逝を悼む声が後を絶ちません。

支部活動報告 足立支部

早かった一年でした！

2014年1月10日の都庁前座り込みから始まった取組も、師走を迎えるまでになりました。まあ、よくも毎月のように取組が続いたものだと、笑顔がこぼれてしまっています。

「東京大気汚染医療費助成制度」の継続を願った活動に、足立支部は毎月の幹事会で確認して参加を強化して臨みました。

先日の11月9日「報告集会」でも支部代表の六車さんが、「この結果に誇りを持っています。」と発言しました。

また、足立支部のモットーは活動も楽しくにありませぬ。行動の帰りにみんなで食事をしたりも楽しいものです。

豊かな支部活動を目指して、4月には「春のつどい」を開催し、7月に



今年5月の旅行会夕食交流会で、支部紹介の場面です

は「夏のつどい」をしました。ゲストの福島原発避難者訴訟団事務局長金井直子さんからの報告は、胸を打つものでした。

余興の獅子舞と南京玉すだれも参加者に大いに感動を与えました。9月には「ぶどう狩り」の日帰り旅行も41名の参加で行いました。今は、年末募金のお願いに回っています。

足立支部 柏葉長一

足立支部は当患者会で一番会員数の多い支部です。支部事務局長の柏葉さんと支部長の鈴木さんと、足立区の医師会・薬剤師会に要請行動を続けて来ました。9月の都議会の決定を受けて、これまで協力をお願いした医師会・薬剤師会にお礼の手紙を送りました。

足立支部は独自にハガキ要請なども工夫をして集めました。



かぜ、インフルエンザなどの呼吸器感染症

かぜやインフルエンザ、肺炎といった、ウイルスや細菌が原因で起こる呼吸器の感染症も、ぜん息を悪化させてしまう原因になります。空気が乾燥しがちになる冬は、とくに注意が必要です。

対策

- 外に出るときはマスクをする
- 外から帰ってきたらうがい、手洗いをする
- 流行前にインフルエンザの予防接種を受ける
- 高齢者(65歳以上の方)は、肺炎球菌ワクチンの接種も受ける

[特集] ぜん息治療 薬だけに頼っていませんか?

活用しよう ぜん息日誌とピークフローメーター

自分のぜん息発作はどんなときに起こってしまうのか、忘れないようにメモしておく「ぜん息日誌」はアレルゲンや悪化の原因を知るためにとても有効な道具です。また、自宅でする肺機能測定用の器具「ピークフローメーター」を使うと、目に見えない気道の状態を数値化してみることができます。

●ピークフローメーターの使い方や日誌のつけ方について
くわしくはこちらをご覧ください

環境再生保全機構ホームページ>
大気環境・ぜん息などの情報館>ぜん息などの情報館>
ぜん息基礎知識>小児ぜん息>ぜん息と上手につきあう

体調を崩しやすい、冬場だけでもピークフローメーターを計ってはい！